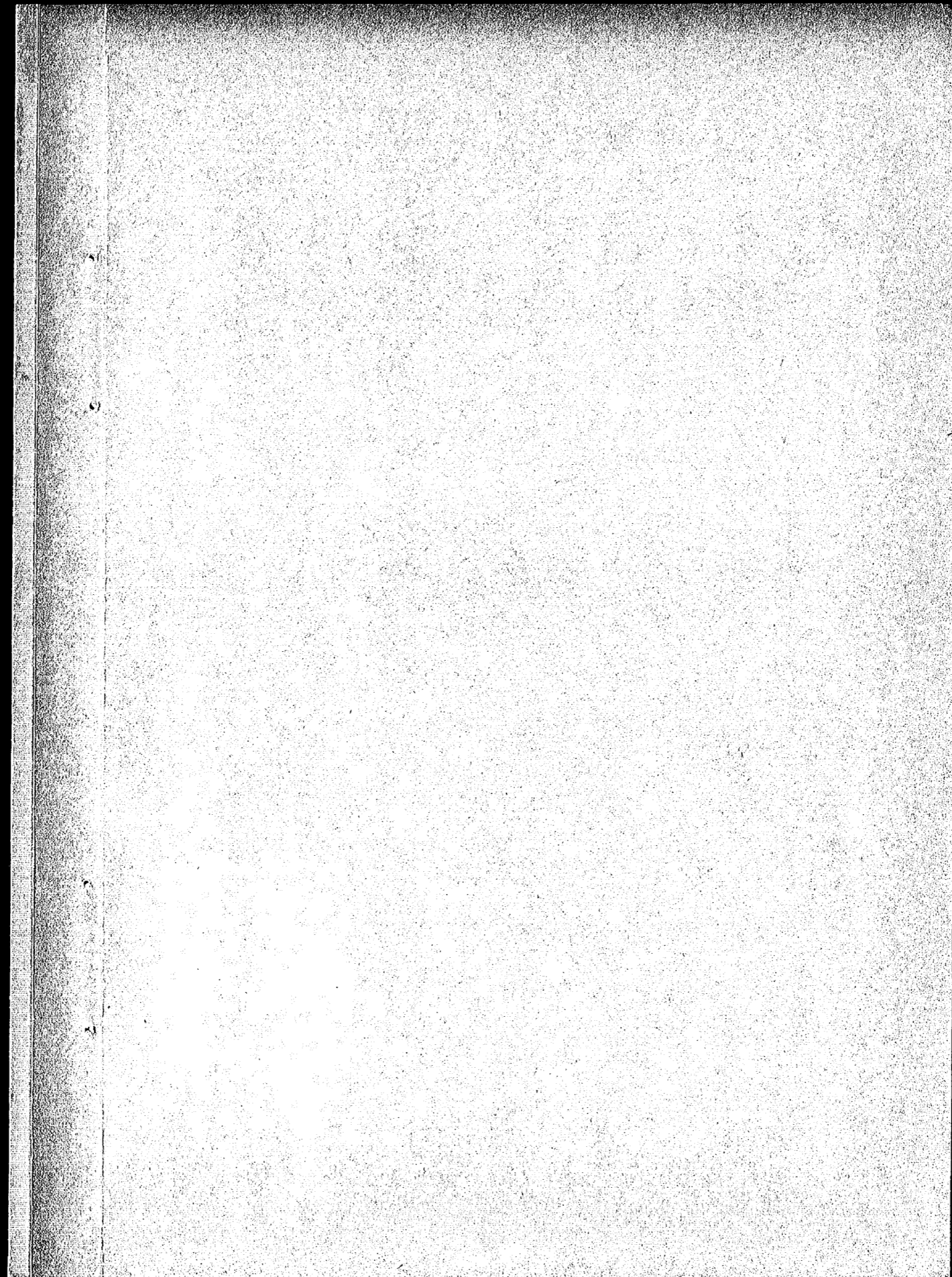




国立公文書館	
分類	
	③ ④
排架 番号	3 A
	15
	8-119



007



昭和二十年九月

新産業國体ニ關スル統制幽体ノ意見

重要産業協議會

国立公文書館	
分類	① ②
配架番号	3 A
	15
配架番号	8-1-19

裏面白紙

鐵鋼統制會

戰爭終結ニ伴ヒ經濟生活ノ一切ノ戰時態勢ハ全面的ニ平和態勢ニ切替ハ
 ラレ從ツテ國家總動員法ニ基ク各種戰時統制ハ一應廢除セラレベキモ戰
 後ニ於ケル國民生活ノ確保、失業對策、インフレ防止、戰災復興等直
 セル幾多困難ナル諸問題ノ處理ト共ニ産業經濟ノ再編成並ニ賠償義務ノ
 履行等複雑深刻ナル戰後經營ヲ疲弊困憊セル國力ノ現狀ニ於テ行フ爲ニ
 ハ一定ノ期間相當高度ノ計畫經濟ニヨリ秩序アル運営ヲ行フニ非ザレバ
 却ツテ混亂ヲ來シ國力ノ恢復ヲ遲延セシムル虞アリ從ツテ少クモ國民
 經濟ノ基本的産業ニ關スル限り戰爭終結即自由主義經濟ヘノ轉換ト云フ
 ガ如キ安易ナル思想ハ此際一擲サルベキニシテ飽クマデ一定ノ國家計畫
 ノ下ニ凡ユル困難ニ堪ヘツツ産業經濟ノ振興ヲ計リ國力ノ恢復ヲ期スバ
 キナリ、假令自由主義經濟ニ急速ニ移行スルトスルモ從來ノ原料、生
 配給、價格等ノ全面ニ互ル高度ノ戰時統制ヨリ一舉ニ之ニ飛躍スルハ到
 底至難ニシテ之ヲ企業ノ側ヨリ見ルモ企業ノ經理補償、勸勞者ノ轉換、
 企業ノ整備等ノ諸點ヨリシテ困難ナルコト明カニシテ段階的ニ移行スル
 ノ外ナカルベシ、以上ノ意味ニ於テ少クモ相當期間各産業經濟部門ニ
 於テ綜合計畫的運営ヲ行フベキ産業經濟團體ヲ必セトスルノミナラス更

裏面白紙

ニ全産業總體ノ綜合的團體ノ結成ヲモ必要トスルモノト思料セララル。然
 シオガラ今後ノ産業經濟ノ經營ハ從來ノ如キ官治統制ハ絕對ニ排除サル
 ベキニシテ政府ハ國家計畫ニ基ク大綱指導ニ止メ民間ノ旺盛ナル自主的
 活動ニ一任スベキニシテ一方民間人ハ此クマデ國力復興ノ大局的見地ニ
 立ツテ産業經濟ノ綜合的經營ヲ圖ルト共ユ不撓不屈ノ信念ト縱橫ノ創意
 トニヨリ活潑ナル企業活動ヲ行フベキモノト思料セラル今後ノ産業經濟
 ノ再編成ニヨリ從來ノ各種産業ノ重點、系列並ニ規模等ハ根本的ニ改變
 セラレ從ツテ之ニ即スル綜合經營團體ノ方式、規模等ヲ異ニスルコトア
 ルベキモ基本的事項トシテハ概ネ次ノ如ク構想セラルバシ

第一産業別團體

一 産業別團體ハ業者ノ自治的協同體トシ會員組織トス

會員ノ加入ハ次項ノ法的根據ニヨリ強制トス

會員ハ概ネ現在ノ統制會會員トスルモ製造品種等ニヨリ整理スルモ

ノトス(例ハ鐵鋼關係ニ於テハ二次製品、製造部門等ニツキ別個

ノ團體ニ分離ヲ考慮セラル)

ニ政府ハ産業別團體ニ對シ法的根據ヲ賦與スルコト

産業別團體ハ自治的團體ナルモ會員ノ加入並ニ後述ノ執行機關(以

下)ノ決定事項ニツキテハ法的強制力ヲ賦與スルヲ要ス、即チ

裏面白紙

論ニ於テ述バタル如ク一定期間相當高度ノ計畫經濟ヲ不可避トスル
現狀ニ於テハ原料、生産、配給、價格等ニ關シ綜合的運営ヲ行フノ
要アルバク從ツテ企業體ノ注意ニヨル經營ハ一定程度補助セラルバシ
政府ニ於テハニ郎スル如キ新經濟團體法令ヲ制定セララルバキモノト
ス

三 産業別團體ハ國策遂行機關タルコト

從來ノ統制會ノ國策協力態形ヲ根本的ニ改正シ政府ハ國策ノ大綱ヲ
指示スルニ止メ具體的計畫並ニ實施運営ハ産業別團體ノ自治的活働
ニ一任スルモノトス、尙國策ノ決定ニ當リテハ産業別團體又ハ後述
ノ綜合的經濟團體ノ意見ヲ積極的ニ參酌スルモノトス

四 政府ハ産業別團體トノ一体的協力關係ニツキ特別ノ措置ヲ講ズルコト

例ヘバ産業別團體ノ統裁者(會長)ヲ當該所管省ノ顧問等ニ任命シ
或ハ理事ヲ專門委員ニ任命スル等

五 産業別團體ノ事業

現行統制會ノ事業ヲ新形態ニ即應シ企業體ノ活潑ナル活動ニ移行ス
ル如ク逐次整理壓縮スルモノトス
而シテ原料、生産、配給計畫ノ設定等一定期間團體ニ於テ留保スバ
キ事項ト雖モ可及的基本計畫ニ止メ企業體ノ活動ヲ拘束スルガ如キ

裏面白紙

制約ヲ極力廢除スルモノトス

六 役員ノ構成

役員ハ概ネ會長一名、理事若干名、監事若干名、評議員若干名等ト
スルモ役員ハ總會又ハ評議員ニ於テ選舉ス 業界ノ總意ヲ以テ選舉
スルモノトス

七 執行機關ハ會長及理事ヲ以テ構成シ事業ノ重要事項ハ執行機關ノ議
ニ付スルモノトス

理事ノ内若干名ハ常時團體ノ業務ヲ掌理スルモノトス

八 産業別團體ノ業務ヲ處理スル爲可及的簡素ナル事務局ヲ置クモノト
ス

九 産業別團體ノ經費ハ概ネ現行統制會ノ賦課金ノ方法ニヨルモノトス

裏面白紙

石炭統制會

惟フニ今後ノ我産業經濟ハ縮減セル領土、資源、人口ヲ以テ而テ各種ノ村
 東ノ下ニ民生ノ維持發展ト賠償支拂ヲ擔當セザルベカラズ前途ノ極メテ多
 難ナルベキハ想像ニ余リアリ。保有セル資源勤勞力ノ全部ヲ擧ゲテ其ノ概
 度ノ効率發揮ヲ圖リ初メテ克ク此ノ困難ニ對處シ新生面ヲ打開シ得ルベシ、
 之方爲ニハ國家ハ計畫經濟政策ヲ採用シ、陸力ノ効率發揮ヲ圖ルノ事アルヤ
 必須ノ狀態ト云ハザルベカラズ石炭ノ如キ産業ノ基礎的物資ニ付テハ就中
 其ノ生産配給等ニ涉リ強力ナル統制ヲ設スベキヤ多言ヲ要セズ而シテ實情
 ニ即シタル適切ナル統制ヲ行フ爲ニハ業界ノ智識經驗ヲ結集セル産業團體
 ヲシテ之ヲ擔當セシムルヲ最適トスベク之ガ構想運用等ノ大綱ヲ述ブレバ
 次ノ如シ

- 一 團體ハ法規ニ基ク強力ナルモノタルコト
- 二 所謂業界ノ任意團體ニテハ生産、價格其ノ他利害關係ノ錯綜セル事項ノ
 統制ニ當ルニ付弱力弱体ノ感多キハ過去ノ經驗ノ示ス所ナリ業界全體ノ
 網羅セル強制加入ノ強力ナル團體タルヲ望ム
- 三 右ノ爲産業團體法一假稱一ノ如キ法律ノ速カナル制定ヲ爲スコト
- 四 總動員法ノ施行停止ニ伴ヒ新團體法ノ制定ヲ要ス現在商工組合法ヲ以テ

裏面白紙

裏面白紙

立法ノ趣旨ガ地方的小組合ヲ主トシテ對象トセルモノニシテ右四体組織ノ根據法トシテハ不適當ナリ

二 國体ハ強力ナル機能ヲ賦與セララルト共ニ從來ノ如キ細部ニ涉ル官廳ヨリノ干渉ヲ排スルコト

三 國体自体ガ責任ヲ擔當セ政府ノ大綱方針ニ則リ眞ニ創意工夫ヲ驅使セ得ル如キ運用ヲ爲スニト

四 一般煤上産業ト異リ石炭産業ニ於テ特ニ計畫經濟体制ヲ採ルノ要アリト認メラレル理由ノ主ナルモノ左ノ如シ

一 限ラレタル國內石炭資源ヲ開發スルニハ計畫採炭ノ實施ヲ不可缺トスルコト

二 石炭鑛業ノ特殊性トシテ需要ノ伸縮ニ應ジ出炭量ノ急速ナル調節困難ナルコト

三 戰時下ノ強行採掘ニ因リ荒廢シタル坑内ノ整備ヲ全國炭礦ヲ通ジ需要量ト總ミ合セ計畫的ニ進ムルノ要アルコト

四 差當リ並ニ將來ノ石炭消費量ハ賠償引當ヲ考慮スル場合ハ一層一ト供給量トノ不均衡ヲ生ズルノ虞大ナル状態ニ在ルヲ以テ配炭調節ヲ爲スニ非ザレバ戰後ノ産業復舊ヲ混亂セシムベキコト

五 戰時下ノ石炭價格政策ハ多額ノ政府補償金ヲ補給ニ依リ二重價格制ヲ採

セメント統制會

セメントハ戰後復興資材トシテ今後重要ナル役割ヲ果スコトナルバ、
 今後極力其ノ生産ハ之ヲ増強セザルベカラズ、而シテ其ノ生産増強ノ爲
 ニハ業界ヲ自由ニ放任シ無統制ニ放置スルコトハ其ノ目的ヲ達成シ得ザ
 ルコト明カナリ。依ツテセメントハ重要産業團體令ガ廢止セラレ從
 統制會ガ解消シタル後ニ於テモ戰後ノ産業復興ヲ目的トスル別種ノ法規
 ヲ制定シ之ニ依ツテ強力ナル統制ヲ行フ必要アリト思惟ス、之ガ實施機
 關トシテハ現行統制會ト略同様組織ニテ宜シカルベキモ其ノ機能ニ付テ
 ハ從來ノ政府ノ考ヘ方ヲ改メ統制團體ニ強力ナル權限ヲ附與シ政府ハ大
 綱ヲ監督スルニ止メ統制團體ヲシテセメント産業ヲ全面的ニ擔當運管セ
 シムルコトトスルヲ要ス

若シ夫レセメント産業ノ爲ニ戰後ノ運管ヲ目的トスル統制法規ノ制定ハ
 ク法的根據ヲ有スル統制團體ヲ設ケザルコトトナレバ業界ハ已ムヲ得バ
 業者ノ自治的團體ヲ組織スルコトトナルベキモ從來ノ實例ニ徴シ同業者
 ノ懇談會又ハ俱樂部式會合ニ止マリ責任アル幕業ノ本体トナルコトハ不
 可能ニシテ生産増強ノ目的ヲ達成スルコト困難ナリト思料ス。

裏面白紙

鐵道車輛工業會設置要綱

車輛統制會

一、要旨

本會ハ本邦ニ於ケル鐵道車輛製造工業ノ再建ト其ノ圓滑ナル發達トヲ期スル爲當該業者ノ強固ナル團結ト協力トニ依リ自主的機關トシテ之ヲ強力ニ運営スルモノトス

「説明」

從來ノ統制會ハ確乎タル法の根據ヲ有シナガテ兎角當該官廳ノ下請機關的存在トシテ運営セラレ爲ニ形式的事務ニ終始セル感アルノミナラス官廳ト二元的ニ統制ヲ行ヒサシタル效績ヲ擧ゲ得ザリシ點ニ鑑ミ新ニ設置セントスル國勢ハ當該官廳ニ依存スルコトナク當該業者ノ自主的機關タラシメ眞ニ當該業者ノ總力ヲ結集シ權威アル指導機關トスルノ外當該業者ノ共存共榮推進機關トシテ之ヲ運営スルノ措置ヲ講ズルモノトス

裏面白紙

電氣機械統制會

一、戦争ハ終結ヲ見タルモ今後ボツダム宣言ノ條項ニ服從セザル可
 カラズトスレバ、殆ンド凡テノ重要生産工業ハ自由經濟ニカヘル
 コトナク、統制經濟ヲ續ケル外ナカレ可シ、果シテ然リトスレバ
 重要生産部門ニ付イテハ何等カノ形式ト方法トニヨル統制團體ノ
 必異性ハ寧ロ戰時中ヨリモ増大スルトモ減少スルコト無カル可ヤ
 但シ從來運行セラルシ重要産業團體令ニ基ク各部門統制會ハ今後
 ノ戦後統制經濟運営上ニ適合セザル點甚ダ多シ、ヨリテ一應全部
 ヲ解体シ時勢ニ最モ適合セル經濟團體ヲ再建スルヲ要ス、勿論従
 來ノ統制會中ニハ存続ノ要無キ部門モ有ル可ク、又部門ノ分類等
 充分検討ヲ要スル點モアリ、再建ノ際之等ヲ是正シ廢止又ハ統會
 ヲ斷行スルコト

二、右ヲ實行スル爲メ、重要産業協議會ヲ中心トシ各方面ノ有識者
 ヲ加ヘタル委員會ヲ組織シ充分検討ヲ經タル上成案ヲ得テ之ヲ政
 府當局ニ建議シ其實現ニ協力スルコト

三、コレガ實現スル迄ノ暫定措置法トシテ現統制會ヲ存続シ政府ト
 協力戰時生産ヨリ平和生産ヘノ轉換ニソキ業界ノ指導救援ニ努力



スルコト、但シ經費節減ヲ爲メ機構ノ簡素化役職員ノ整理ヲ斷行
スルコト必要ナラシム

附 言

電氣機械統制會ハ創立後軍需ハ急激ニ増加スルト同時ニ民需
民需ト稱シテモ戰爭遂行目的ニ不可缺ナラザルモノハ絶對ニ
只發註ガ單直接サラザルモノハ壓縮セラレ而モ軍需ノ大部分
軍自ラ直接製造工場ヲ發註管理スルガ爲メ統制會ハ全面的
ニハ全ク手ノ下ニ様ナク單ニ條ノ下ノ力持的援助ニ最善ノ努力ヲ
拂フ外ナク、カクテ漸次會員ニ對スル威信ヲモ失ヒ結算統制會
ノ無力化ト云フ批判ヲ受ケザルヲ得ザル羽目ニ追ヒツメテ
ガ、戰爭終了ト共ニ一瞬ニ軍需ハ解消シ自然的ニ民需ニ一元化
シタル爲メ當統制會トシテモ、ニ廢テ幾分統制會ヲシテ經營カ
可能トナリタルノ感アリ

裏面白紙



産業機械統制會

我國經濟ノ當面ノ課題ハ國民必需ノ消費材ト聯合國ノ賠償物資トノ
生産ヲ確保スルト共ニ之ニ必要ナル生産材ノ生産並ニ關聯産業ノ振興ヲ
圖ルニ在リ然ル處右ノ實現ヲ期スル爲ニハ凡ソ左記ノ如キ當面ノ諸要請
ニ適合スベキ努力ナル統制ヲ必要トスルコト論ヲ俟タズ

- (一) 全産業ノ均衡アル綜合的發展
 - (二) 農田の調和ヲ所期スル産業立地條件ノ開發並ニ適應
 - (三) 所要生産量ノ確保及生産過剩ノ防止
 - (四) 資材ノ最高度利用及代用資材ノ活用
 - (五) 生産技術ノ昂揚及能率ノ向上
 - (六) 規格ノ統一及検査ノ勵行
 - (七) 資材並ニ製品ノ共同購入及共同販賣
 - (八) 適正價格ノ維持
- 然共之ガ統制ハ決シテ官治的タルヲ要セズ否寧ロ民間ノ創意ト共同責任
トニ基クク自主的統制ニシテ初メテ其ノ本來ノ意義ヲ達成シ得ベシ即チ
官ハ統制經濟ノ運営ニ付必要ナル資材ノ提供ト必要ナル大綱ノ指示ヲ爲
スニ止マリ其ノ運営ハ舉ゲテ之ヲ民間ノ創意ト責任トニ委ヌルヲ可トス
ベシ
- 右趣旨ニ合スベキ統制方式ノ構想概ネ左ノ如シ



- (一) 中央ニ商工、農林、鑛業等ノ全産業ヲ包括スベキ範圍中、中央聯盟ヲ設ケ
- (二) 右ハ各産業ノ各種類別ニ形成セラレタル統制團體ヲ以テ構成セラルル
- (三) 本聯盟ノ構成團體ハ聯盟ノ合議決定ニ基キ必要ナル生産ノ實施並ニ出、資材ノ提供、資金ノ融通等ニ關シ夫々絕對ノ責任ヲ以テ其ノ地方
- (四) 各地方總監府管轄區域ヲ單位トシ右産業種類別地方團體ヲ以テ構成セ
- (五) 地方聯盟ハ中央聯盟ノ決定指示ニ基キ更ニ實施的細目ヲ合議決定ス
- (六) 關係企業ハ原則トシテ經濟地方聯盟所屬統制團體ノ構成員タルモノト
- (七) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (八) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (九) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (十) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (十一) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (十二) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (十三) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (十四) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (十五) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (十六) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (十七) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (十八) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (十九) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (二十) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (二十一) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (二十二) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (二十三) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (二十四) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (二十五) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (二十六) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (二十七) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (二十八) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (二十九) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (三十) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (三十一) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (三十二) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (三十三) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (三十四) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (三十五) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (三十六) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (三十七) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (三十八) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (三十九) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (四十) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (四十一) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (四十二) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (四十三) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (四十四) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (四十五) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (四十六) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (四十七) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (四十八) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (四十九) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産
- (五十) 國ハ中央聯盟ノ意見ヲ徵シ聯合國トノ折衝ニ當ルノ外聯盟ニ對シ生産

裏面白紙

八 經濟聯盟並ニ構成團體ニハ必要ナル法的根據ヲ與フルモノトス
九 本經濟聯盟ノ設置ト同時ニ原則トシテ既存ノ統制團體ハ之ヲ解消シ本
總旨ニ適合スル統制團體ヲ新ニ組織スルモノトス

備考

- (一) 本經濟聯盟ト運輸通信關係事業トノ聯絡ハ別ニ考慮スルコト
- (二) 本經濟聯盟ノ理事者ハ實行力アル壯年層ヲ以テ構成スルコト

以上

裏面白紙

金屬工業統制會

本統制會ハ現在電線製造工業ト壓延金屬工業トノ兩種工業ヲ一括
統制シツ、アルモ右兩工業間ニハ左ノ如ク各種ノ點ニ於テ其ノ統
ヲ異ニスルモノアリ、即チ

(1) 電線ハ完成品ナルニ對シ壓延金屬品ハ大部分素材ナルコト

(2) 電線ト壓延金屬品ハ其ノ需要部門ヲ異ニスルコト

(3) 電線製造工業ト壓延金屬工業トハ其ノ製造設備並ニ所製副産材
ヲ異ニスルコト

工業ハ其ノ企業形態ヲ異ニシ從ツテ其ノ組織並運營方式ヲ異
ニスルコト

本統制會設立以前ニ於テ電線製造工業ハ主トシテ電線原料銅統制
協會ニ於テ壓延金屬工業ハ伸銅統制協會ニ於テ夫々別個ニ統制シ

來リタルハ蓋シ右時質ニ基クモノトイフベシ

此點ニ鑑ミ統制會設立當時ニ於テ業界關係者ハ此ノ事實ヲ指摘シ

別箇ノ統制會設立ヲ主張シタルニ不拘政府ハ當時ノ方針タル小數

且ツ大統制會主義ニ拘泥シ前記ノ如キ重大ナル相違點ニ眼ヲ徹シ

向工業方銅原料トスル點ノミシ強調シテ之ヲ應イテ一統制會ニ

裏面白紙

包括セシメタルヲ以テ本統制會ハ根本的ニ本質ヲ具ニスル兩工業ノ統制ノ爲統制會構並ニ事業運營上絶大ナル努力ヲ拂ヒタルニ不
拘其ノ複合性ノ調整ハ遂ニ如何トモスベカラス爲メニ事業運營上
多大ノ支障ヲ痛感シツ、今日ニ至レリ

上記事實ニ鑑ミ統制會制度解消後ニ於ケル兩工業ノ統制ハ必然的ニ之ヲ分離シ別箇ノ産業團體ニ於テ統制スベキ必要アリト確信ス
ニ新産業團體ハ自治統制ヲ基本方針トシテ設立シタル團體(會社又ハ協會等)タルヲ要ス

前述ノ如ク統制會設立前ニ於テハ電線製造工業並壓延金屬工業ハ夫々業者ノ自治的ニ設立シタル電線原料鋼線統制協會及伸銅統制協會ニ於テ鋼其ノ他ノ原料地金ノ一括引受並ニ生産割當ヲ實施シ業者亦之ヲ全面的ニ支持協力シ以テ業界ノ實情ニ即應シタル自主統制ヲ實施シ相當ナル實績ヲ收メ來レリ
然ルニ統制會心構ノ創設ニ當リ政府ハ業界ノ意見ヲ顧慮スルコトナク強テ兩工業ヲ一括シテ本統制會ヲ設立セシメ、本會ノ發足ニ依リ協力ナル法の根據ニ基ク整然タル統制ノ成果ヲ期待シタルモ複合性ニ基ク統制ノ不合理不徹底ハ更ニ陸、海、空、民多尙的發註ニヨリ一元の調整ノ不能ニ因リ統制會ノ無力化ト相成リ有力會員業者ハ統制會方式ニ依ル官治統制ニ失望シ益ク協力ノ意思ヲ缺

裏面白紙



クニ至レリ
 今大東亞戰爭終結ニ伴フ産業再建ノ時ニ際會シ既往ノ官治體制ノ積弊ヲ思ヒ往年ノ我業界ノ實施シタル自治制ノ實施ヲ想スル時今後ノ電線製造工業並ニ壓延金屬工業ノ新制ハ業者ノ自治的ニ結成シタル団体ニ依リ業者ノ全面的協力体制ヲ基調トシ多年ノ智識經驗ヲ有效ニ活用シ以テ業界ノ實情ニ即應シ得ベキ自治組織ヲラサルベカラザルヲ確信ス
 然リト雖モ政府ハ徒ラニ自治準備ニ放任スルコトナク自治組織機關ト雖モ之ヲ事實上ノ産業國策ノ實施機關トシテ之ニ必要ナル援助ヲ與ヘ再建産業ノ健全ニシテ迅速ナル發達ヲ助長スルノ措置ヲ講ジラレシコトヲ冀望ス

ニ 新産業団体ノ事業概要

- (1) 發註ノ總括
- (2) 需給ノ綜合調整
- (3) 生産計畫ノ獨立並ニ生産割當
- (4) 所要原材料並資材、勞務等ノ一括引受並業者別割當
- (5) 配給ノ一手取扱

裏面白紙

造船統制會

裏面白紙

一 新團體ハ平時立法ニ基礎ヲ有スル公的性格ノ團體タルコト
註 造船部門トシテ造船事業法ニ基礎ヲ有スル團體トナスコトモ
一 應考ヘ待ルモ各種重要産業ヲ通ジテ別途ノ立法ヲナスコト

適切ナリト思考セラル

ニ 新團體ハ法的根據ノ下ニ政府ヨリ強力ナル權限ヲ賦與セララルト
共ニ業界ノ總意ヲ代表シ且ツ強力ナル統制力ヲ有スル自治團體ニ
シテ政府施策ニ原動力ヲ寄與スル如キ働キヲナスモノナルコト

三 新團體ノ事業ハ

(イ) 從來ノ海軍艦政本部ガ執行セル如キ事業

(ロ) 從來ノ造船統制會ノ事業

(ハ) 昭和二十年七月四日勅令第

號重要産業團體令中改正ニ包

含セラレ居ル事業

(ニ) 從來産業設備營團ノ實施セル事業中船舶機關及部品ノ一元發注

ニ關スル事業ヲ一應再檢討シ取捨撰擇ノ上適當ニ定ムルコト

四 新團體ノ構成員ハ現在ノ造船統制會ノ會員及會員タル團體ノ構成員

員ヲ一應全部抱擁スルコト

註 必要ニ應ジ新團體ニ於テ業者ヲ整理統合シ業界ヲ簡素強化ス
ルコト

以上

鐵道軌道統制會

一 戰後ノ產業界ハ自由經濟ヘノ復歸ヲ豫想セララルルニ終戰直後少トキ數年間ハ生産設備ノ復興、復員ノ處理ヲ始メ措置ヲ要スベキ經濟事情山積シ、需給關係又之ニ伴ハサル爲當分ノ間ハ戰時中トハ異ル意味ニ於テ依然產業界ハ經濟統制ヲ必至トスル狀態ニ置カルベシト信ズ、而シテ斯ル情勢ノ下ニ於ケル鐵道軌道統制會ノ活動形態ニ付意見ヲ述ブルニ方リ、先ヅ終戰後當統制會ノ爲スベキ事業ノ概要ニ付之ヲ明ニスル要アリ

二 當統制會ノ擔當スベキ終戰措置トシテハ私鐵（軌道ヲ含ム、以下同ジ）輸送力ノ回復及之ガ整備擴充ハ、再建日本ノ交通施設ニ對スル政府ノ方針トシテ既ニ示サレタル所ナリ、而シテ今當統制會員タル地方鐵道軌道ヲ見ルニ何レモ戰前既ニ弱態ナリシ虛戰時中ノ階使ト戰災トニ因リ極度ニ疲弊シ居リ、之ガ回復及輸送力ノ擴充ハ戰後ノ經濟ニ對シ特段ノ考慮ヲ要スベキ狀態ニ在リ、依ツテ當會ハ此ノ現情ニ基キ差當リ左記ノ如キ措置ヲ採ラントス

イ 戰災ノ復舊

戰災復興ニ方リテハ此ノ際交通ノ系路ヲ考慮ニ加ヘ復舊ニ順位ヲ與フル外、線増及改良ヲ併セ考ヘ、之等ニ要スル工事力ニ特授助、推進ヲ爲スモノトス

裏面白紙

口車輛ノ修繕

戰時中ノ酷使ニ戰災ヲ含メ、要修繕車多キ私鐵ノ現状ニ鑑ミ、速ニ之ガ修繕態勢ヲ確立シ、輸送力ノ充實ヲ圖ラントス

ハ規格ノ統一

現在私鐵ノ規格ハ大小區々ニシテ之ガ爲車輛並ニ作樂用物資ノ相互轉用困難ナルノミナラズ、修繕、整備ニキ迅速ヲ缺ク現状ナルヲ以テ急速之ガ統一ヲ圖ラントス

ニ資材ノ配給

資材ノ配給ニ付テハ戰時ニ施行セラレタル物動計畫ニ基ク、廢統制ハ漸次廢止セララルモノト思料セララルモノ之ニ代リ生産團體ニ依ル自治統制行ハレ、私鐵ノ所要資材ノ入手ハ凡テ之等生産團體トノ交渉ヲ要スベク、資材ニ關スル事務量ハ遽ニ激減セザルベシト思料ス、而シテ漸次自由經濟ノ色彩ヲ加フルニ至リテ、當分ノ間、自取引ハ不圓滑ヲ免レザルベキヲ以テ、當會ニ於テ私鐵、殊ニ弱小私鐵ヲ代議シテ一括發註又ハ一括購入ヲ爲スノ要ヲ生スベシ

ホ資材配給所、部分品工場、鑄物工場、製材所、砂利採取所、乘車券

及帳表額印刷ノ直營

標記標榜上必要ナル諸事業ハ從來民間ノ工場藥業上ニ依存セシキ

裏面白紙

生産及配給ニ事ヲ缺キ、爲ニ經營上支障ヲ來ス場合アリシヲ以テ、有效適切ナル生産配給ヲ期待スル爲ニハ之ヲ當會ノ直營ニスルカ又ハ當會ノ投資事業ニ爲スタ至當ト認ム、尙車輛部分品製作工業ノ如キハ規格統一ノ見地ヨリミルモ此ノ要アリ

へ會員ノ指導

會員ニ對スル業務指導、各種技術指導ハ戰後殊ニ自由經濟思想ノ強化ニ伴ヒ、經營ノ個別化、放漫化ニ備フル爲、益々其ノ必要度ヲ強スモノト思料セララル、殊ニ差シ當リ熱管理、潤滑管理及電力管理ノ指導ハ之ヲ繼續スル要アル外、推進班ニ依ル運轉事故防止及車輛修繕等ノ爲ノ巡回指導ハ之ヲ強化スル要アリト思料ス

ト從業員ノ錬成、教養

戰時中從業員ノ質ノ低下ヲ戰後ニ於ケル各種廢止産業ノ復員ノ採用ニ因リ戰後ハ交通從業員トシテノ錬成及教養ヲ施ス要アリト思料スルヲ以テ之ヲ本會ノ事業トシテ計畫セントス

チ清算所ノ設置

統制會ハ漸次官廳ノ代行機關タル性格ヨリ會員相互間ノ共通事務ノ處理機關、綜合機關タル性質ヲ帶ブルモノト思料セラレ、前各號中ニモ此ノ見地ヨリ説明シ得ラルルモノ存スルモ、本號

裏面白紙

ニ掲ゲタル清算所ノ事務ノ如キ省社及社々相互間ノ連絡運輸運賃ノ清算ハ其ノ著シキモノ一ツニシテ、殊ニ戦後當會ノ事業トシテ適切ナルモノト認メラル

リ申請書等手續ノ代行

前號ト同趣旨ノ下ニ主トシテ認可申請書又ハ届出書ノ代行ヲ當會ノ事業トシテ爲サントスルモノニシテ、優秀ナル技術者ヲ有セザル弱少會社ニハ至便ナルベク又遠隔ノ強大會社ニシテ書類ノ進行ノ爲東京ニ出張員ヲ駐泊セシメオルモノニ付テハ駐泊ノ費ヲ失フベシト信ズ

又農園ノ經營

戦後ニ在リテハ戦災ノ復興、車輛ノ修繕、新規格ヘノ切替工事等新規事業ヲ豫想セラルルモノ之ニ従事スル勞務者ニ對スル一線食糧事情必ズシテ良好ナラザル様見受ケラルルヲ以テ、當會ノ事業トシテ農園ノ經營ヲ企圖シ計畫中ナリ

ル補助金ノ交付

戦後ニ於ケル輸送力ノ回復、擴充又ハ規格ノ統一ハ萬難ヲ排シ施行スルヲ要スル處ナルモノ、一方之ニ要スル經費ノ増大ハ免レ

裏面白紙

ズ、而モ私鐵水準ノ向上ノ爲、經營者ノ意思ニ反シ、採算ヲ無
 視シテモ、線増、改良、規格ノ統一ヲ爲サザルベカラザル場合
 少シトセズ、此ノ場合ニ在リテハ適當ノ補助制度ヲ設クル要ア
 ルベク、其ノ財源及補助金支給方法ニ付テハ「地方鐵道軌道ノ
 納付金等ニ關スル法律」施行及政府ノ一括補償制ノ成行トモ
 關聯ヲ有スルヲ以テ交渉準備中ナリ

三 以上ノ如ク戰後富統制會ニ課セラレタル使命重且大ニシテ戰
 前ニ比シ減ズル處ナキノミナラズ寧ロ加フベキ處多シ、故ニ統
 制會ノ名稱、性格ノ變化ハ事態ノ推移ニ伴ヒ已ムヲ得ザル場合
 存スルト雖モ、斯ノ種統制團體ノ存在ハ絕對必要ナリ

四 而シテ政府ハ今ヤ戰時法規タルノ故ヲ以テ國家總動員法並ニ
 ソノ附屬勅令及命令ノ改廢ヲ企畫中ナリト聞ク、ソノ結果現行
 統制會ハ齊シクソノ存在ノ法的根據ヲ喪失スルニ至ルベキモ、
 一方自由經濟ヘノ轉換ハ一朝一夕ニシテ成ルモノニ非ラズシテ
 猶茲數年間ハ統制經濟ハ依然繼續セシメ又ハ更ニ強化サヘ要ス
 ル情勢ニ在ルモノト思料セララルヲ以テ、右法令ノ改廢ニ當リ
 テモ能ク此ノ間ノ事情ヲ勘案シ、要スレバ經過的措置ヲ以テ統
 制會ヲ現行ノ儘存置スル方策ヲ樹立スルヲ最上トスベシ

裏面白紙

英 若シ前項ノ措置ガ政府ノ一般措置トシテ又ハ立法技術上キリ不
 可能ノ場合ニハ少クトモ之ニ代ルベキ新機構ノ經濟團體ハ左記要
 件ヲ満足スルモノニ非レバ、會員事業ノ統制指導ニ方リ有效適切
 ナル措置ヲ爲ス能ハザルコトヲ確信ス

- (1) 會員ノ強制加入ヲ認ムルコト
- (2) 會員ニ對スル法的強制力ヲ有スルコト
- (3) 右ノ具體的事項トシテ、會員ニ對シ會費徵收權、違反行爲ニ
 對スル罰則ヲ明定スルコト

六 以上ヲ要約シ當統制會ヲ改組スル要アルトキハ、前項各號ノ要
 件ヲ満足スル「日本鐵道會」ナル統制團體ヲ設立シ、ソノ目的事
 項ハ第二項列舉ノ事項ヲ内容トスルモノトシ、ソノ監督ハ現行通
 リノ官廳ニ存シ、從テソノ機構及會長以下役員ノ任命モ監督官廳
 ノ指令ニヨルコトト致シ度ク、之ヲ要スルニ鐵道軌道統制會ハ日
 本鐵道會ト名稱ヲ變更シ、ソノ性格モ統制組合ノ如キ法人ニ改メ
 會員相互ノ綜合事務處理機關タル形態ヲ具フルコトトスルモ官廳
 ノ保護ト監督ヲ受クル團體トシテ私鐵ノ戰後經營ニ不可缺ノ存在
 トシテ活動セントスルモノリ

裏面白紙



化學工業統制會

一 化學工業ハ今後、食糧、住宅、衣料、醫藥、通信、運輸其ノ他生活必需品及復興資材ノ生産ヘ急轉換ヲ要シ而モ之カ増産ヲ計ルベキコト必然ノ傾向ナリ。更ニ又賠償物資ノ決定如何ニ依リテハ化學工業ノ發達ヲ計ルベキコトモ想像シ得ラルバシ。而シテ之カ生産轉換及増産ノ計畫樹立及指導等ニ就テハ今後ニ於テモ強力ナル統制ヲ要シ從テ何等カノ形ニ於テ統制機關ノ設置ヲ要ス

二 現在ノ統制機關タル統制會ハ總動員法ニ基ク重要産業團體令ニ依リ設立セラレタルモノナルヲ以テ時局ニ鑑ミ現統制會ハ一應解散シ、別個ノ新法規ニ基ク新ナル統制機關ヲ設置スルコト必要ナリ

而シテ關係業者ハ新統制機關ノ會員トシテ強制加入セシムル様新法規ニ規定スルコト必要ナリ

三 新統制機關ハ第一項目的達成上、從來ト同様化學工業全般ノ綜合運営ヲ計ルコトヲ根本原則トスベキコト緊要ニシテ、現在獨立ノ機關ニテ統制運営ヲ爲シ居ルモノノ内或種ニ付テハ之ヲ統合スルコトヲ便宜トス

裏面白紙



四 新統制機關ハ生産ハ勿論配給業務ヲモ併セ行フコト即チ、現在ノ統制會ト關係統制會社トヲ一體化シタル組織ヲ適當ト信ズ。或ハ必要アラバ一體化シタル統制機關ノ外ニ綜合計畫樹立等ノ事務ヲ掌ル單純ナル獨立ノ一機關ヲ設置スルゴトモ考慮シ得ベシ

五 新統制機關ハ國家目的ニ副ヒ自主的運營ヲ行フモノトス
 六 新統制機關ハ極力簡素化ヲ旨トシ、役員、職員數モ可及的少數ヲ以テ能率ヲ擧ゲ且ツ經費ノ節減ヲ計ル様努力スベキモノトス。
 新統制機關ノ妥當ナル經理不足ニ對シテハ政府ニ於テ其ノ經理ノ補償ヲ爲ス様勸案セラレ度シ

以上

裏面白紙

裏面白紙

ゴム統制會

第一要旨

大東亞戰爭終戦ニ伴ヒ本邦ゴム産業ハ(一)民生ノ向上、交易ノ發展等國
 富増進ノ爲ノ必要且有力ナル平和産業トシテ其ノ本來ノ地位ヲ恢復シ
 禁榮ト進歩ヘノ新ナル發足ヲ約束セラルルニ至リタルモ他面(二)聯合
 國ニ依リゴム輸入ノ政策的制限及南方ゴム產出量ノ絕對的減少トニ依
 ル原料供給ノ數量的制約ハ現實化必至ノ趨勢ニ在リ加之(三)政治的。經
 濟的。社會的環境ノ激動。變化ハ新榮ノ新ナル指導方針ト新ナル運
 營方式ヲ要請シテ止マズ
 茲ニゴム産業ニ於ケル新産業團體ノ編制ヲ構想シ道般ノ要請ニ即應セ
 ムトス

第二目標

一 新團體ハ官僚的指導方法ヲ清算シ高度ノ政治的覺醒ヲ保障シ得ベキ
 形態トスルコト之ガ爲

二 資本。經營。勞務ノ有機的一体トシテノ企業ノ正シキ自主性ヲ

確保スルコト

(四) 行政官廳ノ關與スル範圍ヲ明確ニシ之ヲ大綱ニ止メシムルコト

(五) 能フレバ議會政治ヘノ職能的參與ノ途ヲ開クコト

新団体ハ其ノ正シキ業界指導ヲ保障スル爲企業ノ總意結集ニ遺憾ナ
ラシムルコト

(イ) 意志決定ノ民主々義的方式ヲ貫徹スルコト

(ロ) 將來能フレバ會員タル團體代表、企業代表ノ外事務者代表、技
術者代表、勞務者代表等從業者代表ヲモ組織的ニ参加セシムル
ノ途ヲ開キゴム産業ノ眞ノ利益共同体タルノ体制ヲ確立スルコ
ト

三 新団体ハゴム産業ノ速ナル復興ト將來ノ繁榮ヲ必成スルニ必要トス
ル強力ナル統制力ヲ附與セラレベキコト

(イ) 資材・生産・配給ノ一貫的統制及之ニ必要ナル實營ニ任ズルコ
ト

(原料資材ノ一手調達及製品ノ一手販賣)

(ロ) 生産割當竝其ノ遂行ヲ確保スルニ必要ナル指示命令ヲナスコト

(ハ) 新業ノ統制運営ヲ阻害スル企業者、經營者、從業者ノ解任權ヲ
保有スルコト

四 上記諸目標ヲ具現スベキ新産業団体組織法ヲ制定スルコト

(イ) 新産業団体組織法ノ對象トスル産業ハ政府之ヲ指定スルコト

(ロ) 指定産業以外ノ産業ノ組織ニ付テハ別途法制ヲ考慮スルコト

裏面白紙

資額割當案ノ作成其他必要ナル設立手續ヲナシ創立總會ヲ招集シテ之ヲ決定スルト共ニ監事及代議員ヲ選任セシムルコト
ハ創立總會ニ於ケル會長選任ノタメ代議員會ノ議長ハ代議員ノ互選ヲ以テ定ムルコト

會議ハ總會及代議員會トスルコト
運営上必要ナル部會、委員會等ハ代議員會ノ議ヲ經テ之ヲ設置スルコト

各會議ノ議決方法ハ原則トシテ多數決ニ依ルコト
總會及代議員會ノ議長ハ會長之ニ當ルコト
總會及代議員會ノ權限ハ定款ニ依リ又ハ定款ニ基キ業務規程ニ依リ之ヲ明確ニ規定スルコト

第四 運送營

一 新團體ハ政府ノ決定案ル經濟計畫（政府ノ決定ニ當リテハ各產業ノ新團體ヲ以テ構成スル上位經濟團體ガ參劃ス）ノ產業別實施ニ當ルト共ニ右實施上必要ナル諸般ノ施策ヲ決定實施スルコト

- (一) ゴムノ計畫輸入
- (二) 輸入數量ノ決定
- (三) 品種ノ指定及現物ノ買付
- (四) プール價格制ノ實施

裏面白紙

5

前記事業遂行ヲ保障スル爲メ政府ニ對スル建議權、(四)會員ニ對ス

- (一) 前記諸政策實施上必要ナル事項
 - (イ) 企業許可及資金調整
 - (ロ) 設備ノ改廢又ハ新增設
 - (ハ) 技術ノ公開交流其他技術改善ニ必要ナル施設
 - (ニ) 會員ノ收支、損益、財産ニ關スル會計監査及企業比較ニ依ル成績考査
 - (ホ) 賃金、厚生其他勞務問題ノ處理
 - (ヘ) 其他
- (二) ゴム製品及再生ゴムノ計畫生産
 - (イ) ゴム製品及再生ゴムノ品種別生産數量ノ決定
 - (ロ) 工場別生産割當ノ實施
 - (ハ) 製品ノ品質、數量ノ檢査
 - (ニ) 纖維、配合劑等原料資材ノ確保及配給
- (三) ゴム製品ノ計畫配給
 - (イ) 需要査定
 - (ロ) 適正價格ノ決定又ハ政府ノ決定ヘノ參勸
 - (ハ) 製品ノ保管及配給
- (四) 前記諸政策實施上必要ナル事項
 - (イ) 企業許可及資金調整
 - (ロ) 設備ノ改廢又ハ新增設
 - (ハ) 技術ノ公開交流其他技術改善ニ必要ナル施設
 - (ニ) 會員ノ收支、損益、財産ニ關スル會計監査及企業比較ニ依ル成績考査
 - (ホ) 賃金、厚生其他勞務問題ノ處理
 - (ヘ) 其他

裏面白紙

裏面白紙

ル資料提出權、(イ)會員タル企業、團體ノ役員及従業者ノ解任權等
ヲ附與セラレベキコト

三 新團體ハ其ノ機能權限ニ於テ強大ナルヲ其ノ發動、行使ニ付テハ
飽ク迄民主主義的方式ニ依ルベキコト

之ガ爲總會又ハ代議員會ニ附議スベキ事項ハ定款、業務規程ノ
ニ明カニナシ置クコト

四 政府ハ前第一項ノ生産配給(輸出入ヲ含ム)ノ全体的年度計畫ヲ
指示スルニ止メ之ガ實施並實施ノ爲ニ必要ナル擴充操短等ハ舉
テ新團體ニ一任スルコト

五 各産業ノ新團體ハ上位ノ聯合組織ヲ構成スルモノトシ右上位團體
ハ國家經濟計畫ノ策定、實施ニ付政府ト表裏一体的關係ヲ有スル
モノタルコト

六 理事長又ハ理事ヲ政府トノ連絡官ニ任用シ當該産業ニ關スル意志
決定ニ當リ必ズ參照セシムルノ方途ヲ講ズルコト

七 事務局ハ中央事務局ト地方支部トスルコト
必要ニ應ジ第三國ニ駐在員ヲ派スルコト
事務局ハ極力簡素強力ナルコトヲ建前トシ且中央集権的ニ運営セ
ラルベキコト

八 事務局職員ハ公務員トシテ官吏服務規律ノ準用ヲ受クルモノトシ
各産業團體ヲ通ジテノ任用方法ヲ定メ官廳及會員企業トノ人事交流ノ途ヲ開クコト
新團體ハ經營、勞務ノ階層的編制等新タナル生産責任体制ヲ具現シ團體再編ニ相照ス
ル企業体制ヲ確立スルタメノ措置ヲ講ズルコト



石油 統制 會

我國石油精製業ハ曩ニ米國ヨリノ全面的原油輸入杜絶後ニアリテハ國產原油以外ヲ專ラ南方原油ニ依存シ政府ノ強力ナル統制下計畫生産ヲ行ヒ來リシガ大東亞戰々局進展ニ伴ヒ原油處理量ノ著減ヲ見ルニ及ビ業者ノ經營難ハヤウヤク深刻トナリ之ガ損失補償、共同計算ノ問題ハ夙ニ統制會ノ設立ニ先立チ其ノ前身タル石油精製業協議會(任意團體)ニ於ケル重大業務トシテ登場シ來リ此ノ程統制團體ノ存在ハ精製業ノ共存共立上逐次其ノ必要性ヲ高メツ、アリタリ

僑々今次大東亞戰爭終結ニ伴フ我國産業界ノ一大變革ト共ニ總動員法ニ基ク各統制會ハ必然解消ノ運命ニ向ヒツアル如キモ石油精製業ノ將來ハ既ニシテ南方油田ヲ完全ニ喪失セル今日トシテ海峽日リ今後新ニ精製原油ノ供給獲得ハ至難ナリト茲ニ經營難ノ愈々深ナル國産原油ノミニ依存セザルベカラズ、茲ニ業者經營難ノ愈々深刻化ヲ來スト共ニ之ニ對處スベキ經濟的措置ノ適正ナル處理ヲ必要トスルハ固ヨリ戰後産業界ノ復興、運輸交通上等ニ於ケル燃料潤滑油類ノ需要ニ對應シ限ラレタル原油ノ有效利用ヲ可能ナラシムルガ爲メ綜合的計畫生産實施ノ必要性モ愈々其ノ度ヲ加ヘ來ルベキ處之等諸問題ノ解決ハ業者個々ト政府トノ間ニ於ケル直接折衝ニヨリテ

裏面白紙



到底成果ヲ期シ得ベカラズ、茲ニ於テ現行制度ニ代ルベキ新設制
 體ノ登場ヲ必ストスベキ處之カ機構トシテハ問題ノ複雑化、解決
 ノ困難性ニ鑑ミ職後ニ於ケル多難ナル業界ノ安定ヲ確保センカ爲メ
 ニハ單ナル任意團體タルヲ以テ足レリトセズ何等カノ法的根據ニ立
 脚セル強力團體ノ組織ヲ適切トスベク思考セラルモノナリ

裏面白紙

戰時建設圖

戰後復興事業、失業救済事業等ノ爲メ土木建築事業ニ負荷セラレタル
ル實務ヲ迅速適切ニ處理スル爲メ政府ハ以下記述スル組織ニ依リ土
木建築業ヲ運営セシムベキモノトス

一土木建築業ノ機構ハ民意ノ嚮導、道義ノ徹底ヲ基調トシ国力ノ
増進、文化ノ發達ニ寄與シ得ルモノトシテラシムルコト

一現存土木建築者ノ結合ニヨリ金財力ヲ綜合發揮シ得ルガ如キ組合
ヲ作ラシムルコト

一組合ニハ全國ノ業者ヲ漏ナク包含スベキハ勿論各業者ノ能力ニ
應ジテ施工區域ヲ按配シ施工能率ノ増進ヲ圖リ得ル事トスル事

一工事ハ國、自治體、民間ヲ問ハズ悉ク右組合ノ組織員ニ命ジ業
者ト發註者トノ自由契約ニ依ラシムルモ一定規模以上ノモノ又

ハ特殊ノ工事ハ組合ニ於テ公止ニ按配シ業者ノ能力ニ應ジテ適
當ニ割當ツルコト、但シ此ノ場合工事ニ對スル金責任ハ組合ニ

於テ負フモノトスルコト
一組合ノ理事長及役員ハ業者ノ推薦ニ依ルモノトシ其ノ運営ハ全

ク自治ニヨルモノトスルコト
一組合ニハ研究所、厚生施設等、其他土木建築業ノ進歩發達

裏面白紙

裏面白紙

ニ必要ナル機願ヲ完備セシメ建設文化ノ昇揚、並ニ業界地歩ノ向上ニ資セシムルコトトスルコト

ニ付テハ業界ノ傳説的情誼ノ美風ヲ保持セシムルコト

ニ直備工以外ノ勞務者ハ組合ニ於テ保有シ業費ノ削減ヲ期スル爲メ源ヲラシムルコト

ニ本案實施ノ法的根據トシテハ不取敢商工組合法ニ據ルヲ同法ハ土木建築業ニ適用セザルヲ以テ速カニ土木建築業ニ適用セザル法ヲ設クル事トスルコト

以上

「勞務者ノ保有」ノ意義

現在勞務報國會ニテ土建勞務者其ノ他ノ勞務者ヲ登録シて其ノ勞務給源トナスガ如キ事ヲ組合ニテ行ハントスルモノニテ然ラスルニ勞務報ヨリ組合ニ勞務者ヲ轉屬セシムルモノナリ

方法トシテハ土建業ニ就勞セントスル者ハ組合ニ登録セシムルニ應ジテ呼ビ出シ就勞セシム

登録セザル者ハ土建業ニテ働カントシテモ不可能ナル事ナリ

以上